

W 町民のみなさんと議会をつなぐ

ぴっぷ議会だより



議会とまちづくり 思いを語る



「議会と話そう」

町民と議会との意見交換会
「議会と話そう」

No.117

令和6年4月

臨時号

発行 北海道比布町議会

編集 議会広報特別委員会

報告

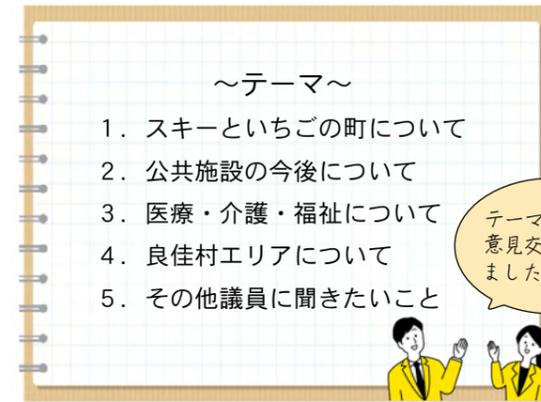
「議会と話そう」

昨年に引き続き、意見交換会「議会と話そう」を開催し、参加された皆さんから地域の課題や行政に対する要望をいただきました。

いただいた意見や要望を今後の議会運営に生かすとともに町政に反映させる取り組みを行っていきます。



2024.2.6 蘭留地域センター 町民8名・議員9名参加



- ～テーマ～
1. スキーといちごの町について
 2. 公共施設の今後について
 3. 医療・介護・福祉について
 4. 良佳村エリアについて
 5. その他議員に聞きたいこと

テーマに沿って意見交換を行いました！



2024.2.14 図書館視聴覚室 町民8名・議員9名参加



1班

遠藤ハル子、谷口 雅浩
澁谷 興二、八巻 良博

初めにびっぷクリニックの話題があげられ、「医療体制が変わるのか」「入院病棟が無くなるのか」などのご質問がありました。また、「現在入院している方が旭川市の病院へ移ることになれば、見守る家族が旭川市まで行くことになり、負担が大きくなるため入院病棟は必要

とのご意見もいただきました。その後も多くのご意見が出され、びっぷクリニックへの関心の深さが理解できました。

また、比布町の将来について「蘭留地区の将来が心配」「農業後継者がいない」などのご意見が出されました。

良佳村エリアについては「第1リフト側の照明が無く、準指導員検定を受ける方々が練習できない」とのご意見をいただきました。「びっぷスキー場において準指導員検定は歴史があり、このままでは無くなるのではないかと懸念も出されました。

その他にも、役場庁舎の建設、キャンプ場の拡大、スキー場駐車場の排水の悪さ、給食費の無償化など多くの課題が出され、参加者の熱い想いを聞くことができました。

私たち町議会がどのようにしてこの課題、町民の想いに真摯に向き合えるかを問われた話し合いだったと思います。(八巻)



2班

大熊 勝幸、植西 浩一
佐藤 良彦

意見交換会「議会と話そう」が昨年に引き続き開催され、今回は蘭留地区でお話をお伺いしました。

多くの住民が参加をしてくださり、賑やかに開催され、良い会となりました。

今回のテーマは観光地や観光農業についてなどがメインでしたが、年々住民が

減少していく蘭留地区では「これからも住み慣れた地域で暮らすにはどうしたら良いか」というひっ迫したテーマが上がり、議会としても放っておけないテーマであることを認識しました。

また、14日に開催された意見交換会では、観光についてびっぷレーシングに所属されている方から具体的な提案がなされ、すぐにスキー場の活性化に活かそうするため、今後議会で議論していきたいと思えます。

この2回目の意見交換会を開催するにあたり、提案された事案をどう扱うかについて、一部分でも議会での発言、質問に活かそうと考えています。

今回の意見交換会を踏まえ、より一層住民の負託に応えられるよう真摯に話し合うことを決意した会となりました。(植西)



1班

遠藤ハル子、谷口 雅浩
澁谷 興二、八巻 良博

「スキーといちご」についてのテーマでは、「スキー場に外国人観光客をもっと呼べないか」「PRをもっとしては」「シーズン券は魅力的」「良佳村エリアを道の駅にしては」という提案がありました。

また、「冬いちごの収穫量を増やせないか」「新しい

メニューを検討しては」「光熱費を下げるのは厳しそう」「いちご狩り軒数が減って残念」「いちご狩りは比布の文化です」という意見もありました。テレビでも紹介されましたが、ホントに美味しいいちごです。

「公共施設の今後」については、「新庁舎は木造が良い」「50年以上使えるように」「災害時の防災拠点として計画しては」「建築後の管理が重要である」という指摘も伺いました。備えあれば憂いなしですね。

「医療・介護・福祉」については、「診療所指定管理者の次期公募をしても医師が来てくれるのだろうか」「入院病棟が無くなるらしいが、家族が町外の病院に入院したら転居するかも」「議員も介護福祉をもっと勉強して」という意見もありました。(谷口)



2班

大熊 勝幸、植西 浩一
佐藤 良彦

今回、町が抱える大きな課題をテーマに色々な視点から議論をしました。

「町の観光はスキー場といちご。将来はどうするのか」「リフトから見る町の景色は素晴らしい。夏場でもスキー場の利用ができれば、キャンプ人気による来場者も多いので、良佳村エリア全体

として整備して魅力を作り、もっと情報発信をしていくことが必要」などのご意見をいただきました。また、「いちごの町でもあるのに、いちご狩り農家が減り衰退している。若手農家が力を入れている冬いちごの生産にもっと支援をして、いちごの町をPRする必要があるのではないか」とのご意見もいただきました。

比布町は景観もよく、スキーといちごのどちらも魅力的で、多くの人に知ってもらえるよう工夫を凝らしながらPRをしていかなければいけないと思います。

最後に、「10年後の比布町をどのように考えているのか」という質問が心に響き考えさせられました。今回の大きなテーマによって子どもたちの将来のために、10年先を見据えたまちづくりのビジョンを描きながら、各分野の魅力を町民の皆さんと共に作り、明るい比布町を築いていきたいと思えます。(大熊)

参加者の声

「議会と話そう」に参加された方にインタビューを行い、感想やご意見をいただきました。ご協力いただき、ありがとうございました。



堅苦しい雰囲気だと意見も出しにくいですが、グループの人数もちょうど良く、話しやすい雰囲気だったので積極的に意見交換ができました。色々な方の意見を聞くことができて良かったです。

佐藤 満さん (蘭留町区)



普段聞けないお話をたくさん聞けました。町民の方が町に関心を持って、色々な意見を出していたのが良かったです。町議会で今回の意見を受け止めて町政に生かしてほしいと思います。

大西 健夫さん (西町)



昨年42年ぶりに比布町に戻ったばかりなので、当時とは変わった町の現状を知ることができて大変有意義でした。テーマに対してアイデアを出して終わりではなく、具体的な方向付けができれば更に良かったと思います。

合田 晋二さん (新町)

参加者アンケートからのご意見（回答 15 人）

■ 感想は？

すごく良かった 7人
良かった 7人
普通 1人

■ 発言は十分にできましたか？

できた 13人
できなかった 2人

定例会を日曜日のお昼から開催してほしい



■ 意見交換会の時間は？

長かった 0人
ちょうど良かった 13人
短かった 2人

■ 次回も参加したいですか？

また参加したい 11人
わからない 4人
参加したくない 0人

みんなで考えたことを実現しよう！



議会の開会が朝早いので傍聴へ行くのが大変



6月定例会のお知らせ

第2回比布町議会定例会は6月中旬に開会します。6月定例会では一般質問や議案審議が行われます。ぜひ議会傍聴へお越しください。

傍聴の流れをご紹介します！

①



役場2階議場へお越しください。不明な場合は役場職員がご案内します。

②



議場前に設置している受付簿にお名前・住所・年齢を記入いただき、傍聴人心得と議事日程を持ってお入りください。

③



傍聴スタート！議場への出入りは自由です。議案の貸出も行っていますので、ご自由にご覧ください。

④



議会終了後、貸出議案・資料をお戻しください。議会傍聴アンケートを実施していますので、ご協力をお願いします。

お礼のごあいさつ

今回の『議会と話そう』は昨年に引き続き2回目の開催となり、予想を上回る多くの方々に貴重なご意見を拝聴する機会となりました。

拝聴した内容を精査し、町政へと提言して参ります。

町政と議会がより身近な存在として感受頂けますよう議員各位と創意を重ねてまいります。

ご参会いただいた皆様には貴重なご意見の数々や私どもへの叱咤激励も多く賜り、厚く御礼申し上げます。

話を伺い会話する重要性、町は人で構成されている事を改めて知る機会となりました。町民の為の議会改革となるよう取り組んでまいります。

次回の参加をお待ちしています！



議長 佐藤 康則



議会改革特別委員長
副議長 今井 明信

